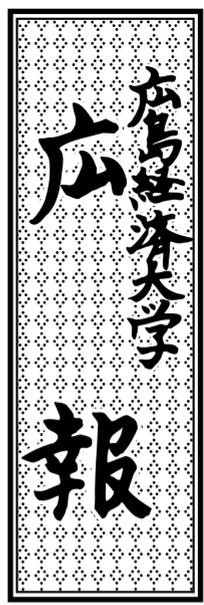


日本私立大学協会 常務理事・事務局長 小出 秀文氏を迎えて 「いま問われる 私立大学の役割」



こいで・ひでぶみ
1973年日本私立大学協会入職。
1998年に事務局長、2015年から
常務理事。千葉県市原市出身。



発行所
広島経済大学
広島市安佐南区祇園
五丁目37番1号
郵便番号731-0192
電話番号(082)871-1000(代)
ウェブサイト https://www.hue.ac.jp/

| | |
|----|-----------------------------|
| 2面 | 2024年度入学式挙行/随想 |
| 3面 | グローバルに活躍する先輩たち |
| 4面 | 私のゼミナール雑感/アカデミックの扉 |
| 5面 | 2024年度広島経済大学学生表彰石田学園各種奨学生決定 |
| 6面 | 2025年度学生募集要項 |

初代石田成夫先生の 思い出

小出氏 広島経済大学という、初代学長の石田成夫先生を思い出しますよ。先生の私立大学業界に対する一番の功績は、貴大学の創立とその発展への献身は申すに及ばずですが、日本私立大学協会関西支部から中四国支部を分離独立させたことです。あのときの演説というか、意見発表はすごかった。先生は「関西には関西の文化圏があるように、中四国地区にも固有の歴史と文化がある。その風土の上に教育機関がある。この地区の問題は、この地区の人たちが責任をもって語り合い、解決していかねばならない」ということをおっしゃった。新支部創設、独立のような大きな問題は簡単ではありませんでした。先生にはたえず地域に立脚した私立大学の、そして全国の視野に立った私学振興の重要性を説く私学振興の信念があった。真のリーダーでしたよ。

学長 初代学長は長い間、日本私立大学協会の支部長および副会長を務めまわして、協会の仕事を大事にしている。地方の声を中央へ届けることを使命としているように見えました。
小出氏 先生は、日本の未来のために私立大学は団結しなければならぬ、個性豊かな私立大学がまとまるには、事務局がしっかりとしなければならぬとして、事務局はどう考えるか、といつも問われた。私たちが

地方を支える 私立大学の役割

小出氏 昔、先生から敷地内の山では松茸も取れるからいらつしゃい、と言われたこともあったな。今日、大学に来たけれど、自然がこれだけ豊かに残っておいて、こういう中で学業に励めるというのは、大変結構なことですよ。

学長 本学は豊かな自然と人々の暮らしが混ざり合うところにある。素晴らしい教育環境だと思えます。祇園地区は大型ショッピングモール等もあり、若い世帯も多く活気があります。学生は多くの活動を、地域の方々の協力を得て実践しています。

小出氏 大事な点です。地域に支えられて高等教育機関は存在し、役割を果たしているわけだから。私は「産学官金民」と金融をくっつけてよく話すのだけれど、みんな盛り上げていく。大学は地域の中心になるものだと思つて。
学長 研究教育に加え、地方の私立大学には、所在する地方地区を支えるという重要な役割もあると思います。今は、定員が割れると撤退、みたいな論調になりがちですが、とんでもない話だ。
学長 地方大学が担う地域を支えるという役割は、誰にも代替できない重要なものだと思うんですね。私たちも、所在する地区と支えあっています。もし本学が撤退したらここはどうなるのか、そういうことも考えます。
小出氏 その通りだね。我々は今どんな時代を生き

ているのか。そういう視点から大学の位置をじっくり見直さないといけない。しかも地方にはそれぞれ固有の事情があって、ひとつくりに語れない。この豊かな地域性が、日本列島、この国の素晴らしさでもあるけれど。

コロナ以降の 大学教育の在り方

学長 国や機構などに各大学は評価されますが、一律では測れないと思えます。
小出氏 一律に語ろうとする行政ではだめです。協会が考えているのは、地域で努力する私大、改善が必要なら私大を、どう正しく評価すればいいの。定員充足率ひとつで給付型奨学金制度の対象から外すというようなことは、物差しとして極端な問題。頑張ろうとする私立大学のダイナミズムをつぶさない、そういう物差しを提案したい。

学長 大学数において私立大学の占める割合は圧倒的です。これだけの私立大学が地域の核になって、今日の地方の経済や文化を担ってきたことは間違いありません。少子化時代、私立大学にも課題はありますが、そうした貢献の部分も評価していただければと思つています。

小出氏 少子化の問題だけでなく、どのような将来展望を開くのかを、地域が考えないといけない。そこに、どういった戦略的なプランを大学が提供できるのか、重要になってくると思つています。
学長 そうです。繰り返しますが、今我々はどうな時代にあるかが重要。かつて追いつけ追いつけと言われた頃は、同質・同レベルの人材を大量に育成する、黄一色の葉の花畑のような

小出氏 コロナの次の時代をどう見るのかということでも、私立大学の取り組みが期待されている。ソサエティ5.0を見据えた、オンライン時代の大学像をどう描くのか。大学教育はハイブリッドにならざるを得ないでしょう。

学長 オンラインが対面かという議論ではなくて、良いところを取るといふことです。以前も、少人数教育か大人教教育かという似た議論があつて、大人教教育が批判されたけれど、あれも全面的に否定できるものではない。一方的な結論は良くないね。

学長 教育の議論でも、白黒つけるというか、すぐにベストを決めようとする傾向があることを危惧しています。それこそ戦後、協会の設置の趣旨で反省として語った画一的な教育への懸念です。批判的な精神もあつて、みんなが多様なスタイルだから社会は豊かなのに、と。
小出氏 そうです。繰り返しますが、今我々はどうな時代にあるかが重要。かつて追いつけ追いつけと言われた頃は、同質・同レベルの人材を大量に育成する、黄一色の葉の花畑のような



日本私立大学協会 常務理事 小出 秀文氏



広島経済大学 学長 石田 優子

私学教育とは 魂の教育

学長 私学教育の根本とは何でしょうか。
小出氏 私学教育とは、心の教育、魂の教育です。昔の寺子屋など私塾は、顔と顔を合わせて、その子の悩みや、将来活かすべき個性や時代・社会の方向をともに考える教育だった。
学長 本学はまさに、学生に寄り添う教育を心掛けています。教職員も、同じように考えて行動しています。本学は中規模大学で、それができるぎりぎりのサイズかもしれませんが。この方針から、教育は対面を重視しています。顔を対面した時に、今日は元気がないなとか、後ろ姿も気になる、その距離感を大事にしていきたいですね。
小出氏 それ私学教育だよ。そこを忘れて、オンラインだ、対面だ、どちらがいいかじゃない。白と黒のグレーにもいろいろ色がある。それが多様なダイナミズムですよ。先生方の、教育者としての良心がそこに結集しているかどうか。心をひとつにしてその私学教育に精進できるかどうかというの、まさに今少子化の中では問われているのではないのでしょうか。(2面へ続く)

※日本私立大学協会
1946年12月「全国私立大学連合会」として発足。
1948年3月「日本私立大学協会」と改称し現在に至る。わが国の高等教育及び学術研究の機関としての私立大学の地位の重要性に鑑み、学校法人相互の提携と協力によって、私立大学の振興を図り、その使命達成に寄与し、学術及び教育の進歩発展に貢献することを旨としている。
会員数は、395法人415大学(2024年6月現在)。

受け継がれる 建学の精神

多様性の時代を つくる私学教育

学長 教育者の良心に於いては、私はやはり、初代学長の石田恒夫や、第二代会長の石田恒夫の行動を見て学んだと思います。初代は建学の精神を胸に、原爆投下後の広島で、学園復興に尽力しました。大学設置に際しては、「地方出身者は地方大学が救う時代」と考え、この地域で良い高等教育を受けられるように、と願って行動しました。その思いは熱いものでしたし、二代目はそれを継ぎ「Be Student-oriented」すべては学生のために」を私たちの行動指針としました。

小出氏 純粋な教育愛です。それを核として私立学校は生成発展してきたのですから。

学長 そうですね。ですから、建学の精神や大学開学の理想などは、私たちにとって重要な指針です。創設者がそうしたように、どういう未来や社会を描くかを考え、そこからどういう人を育てるか、という大学でありたいかを考え続ける。教育への情熱や覚悟なくして、大学は存在すべきでないと思います。

小出氏 私学が最も重視すべきことですね。学風というのがありますね。石田成夫先生も第二代会長の石田恒夫先生も私学教育者としての信念を持っておられた。その思いは継承されています。学長は、学長であると同時に副理事長でもあるから、広義の意味での経営者としての良心も持ちたい。それが重要なことです。日本私立大学協会は、私財を投じて大学を創設して守ってきた、経営組織体の私立大学を応援する団体なのです。

小出氏 地方の問題がこれだけクローズアップされるのは、この国の今後の在り方に関わるまっただしの喫緊の課題だからです。科学技術や経済社会の発展等々で、モノトーンの一極集中になった結果の地方問題だと思ふ。しかし、東京にすべてが集結するというのは真に幸せで豊かな社会だろうか。江戸時代には、藩が個性豊かな歴史と文化を築いた。今私たちはもう一度、この国の姿を考え直すべき時ではないかと思ふ。

学長 協会には全国に7つの支部がありますが、それぞれの支部内の大学が協力して、ひとつの文化圏を築くイメージでしょうか。

小出氏 地域の広がりの問題は残りますが、大学間協力とか大学間連携の実質をどこまで求められるかというところが試金石になるだろう。しかし、その前提となる公正な競争環境、すなわち対国立大学に対する競争環境や協働関係をどのように作るか、協会が真剣に考えて提案し戦っていかねばならない問題です。

学長 地方私立大学の個性が、教育の豊かさを支えています。私大の自主性が尊重され、そこから生まれる強みを活かして努力できる環境整備をお願いします。

小出氏 協会への強い期待を感じました。それから、広島の中でこうした対談が行われる意味合いは大きい。平和や人生の価値に関わる企画であると改めて思ふ。広島経済大学には、いろいろな意味で大いに期待しています。

学長 教職員一同、力を合わせて頑張ります。ありがとうございます。

2024年度 入学式挙行



石田記念体育館において執り行われた入学式

4月1日、2024年度入学式が本学石田記念体育館において、執り行われた。多くのご家族やご来賓、

2024年度 就職率 99.1%

2024年3月卒業生の就職率は99.1%（就職希望者）に達した。学生の高い意欲と、本学独自の「オーダーメイド」の就職支援がこの結果につながったといえる。

就職活動が早期化・長期化するなか、3年次の4月に就職活動準備ガイダンス、5月にインターンシップ対策講座を実施。タイムリーな働きかけにより、夏季休業中のインターンシップ参加者は3年次生の約半数に達した。

3年次後期には、キャリアセンター職員がゼミ担当教員と連携して学生全員と面談。一人ひとりの希望や個性を理解し、個々のニーズに応じたきめ細かい支援を行った。

就職活動が本格化する10月以降に、就職ガイダンスや対策講座を各4回開催。2月



一人ひとりに寄り添う「オーダーメイド」の就職支援

随想



伝え、激励の言葉を送った。続いて学部を代表して水谷謙吾さん（経済学科・愛媛県宇和島東高校出身）と大学院を代表して仁熊賢一さんに専念し、世界の平和と繁栄に貢献し得る人物となるべく、努力をいたします」と、それぞれ宣誓の言葉を述べた。その後、水野隆司同窓会長からお祝いの言葉が贈られ、最後に大学歌を斉唱、厳粛裡のうちに終了した。式典後はゼミごとに分かれて、オリエンテーションを実施。これから大学生活を共にする新しい仲間や教員と交流を深めた。また、学生会館前では、ダンスや歌の部・サークルによる学生パフォーマンスが行われ、歓迎ムードに包まれた。

昨年12月10日、都内ホテルで「ハレー彗星遠日点通過記念」という風変わりな会が開かれ百数十人が集まった。ハレー彗星は76年周期で地球に帰って来る。前回の地球接近は1986年4月、その勇姿をシドニー西200キロのバサーストで見た。そこは畜産集荷地で周辺は緩やかな丘が続き夜は全く明かりがなかった。JALが日本ハレー協会の活動を支援してくれたお陰で毎週500人ずつの会員が3週間におたりこの地を訪れ、合計1,500人が世紀の天体ショーに酔いしれた。観測地となった丘に数百台の天体望遠鏡を設置する大がかりな準備が行われ、正確な情報を収集している。

学生本人の思いに寄り添い、最良の進路を実現できるように、今後も教職員一丸となって全力でサポートを続けていく。

2024年度 保護者会春季役員会開催



挨拶をする石田恒夫理事長

6月24日、2024年度保護者会春季役員会が、広島ガーデンパレスにおいて開催され、49名が出席した。この役員会には、保護者会規約第11条により、保護者会総会の代行となるもの

のである。役員会では、石田恒夫理事長（名誉会長）の挨拶に続いて、2023年度の事業報告、会計報告並びに監査報告が行われ、引き続き、2024年度の事業計画（案）並びに予算（案）が提案され、原案どおり承認された。次に、学事報告として、岡田英幸事務局長から入学試験の結果、就職状況をはじめ、学習支援体制など大学の近況について、詳細な説明が行われ、役員会を終了した。

役員会終了後の懇親会で、役員、顧問及び教職員による意見交換が活発に行われた。

ハレー彗星に恋して



経営学部スポーツ経営学科 濱口博行 教授

の企画部門に異動となり、テーマを「環境」と「教育」にした。随分背伸びしたものだ。「環境」は何かとなった。翌年の夏、家族で福島の吾妻山系の浄土平に行き美しい星空に出会った。これだ！子供達に星空との出会いの機会を

「感動」して貰おう。秋になると同僚からハレー彗星接近の事実を知らされた。1986年4月に地球に最接近。この日以降ハレー彗星と共に歩む毎日が始まった。組織設

英国人天文学者エドモンド・ハレーの偉業を偲ぶ貴族の集まりで、会員は毎月一回ハレー彗星のロゴ入りネクタイを締めて会合に参加するとの事。早速ロンドンに出張し、ブライアン・ハーバー会長から日本ハレー協会設立への全面支援を取りつけた。これで組織の正当性を主張出来る。日本ハレー協会設立呼びかけ人に日経サイエンス編集長、男編集長、文部省宇宙科学研究所大林辰蔵教授、国立博物館村山定男理化学研究所長、東大教養学部小尾信彌教授、そしてB・ハーバー会長。なかでも村山先生の影響力は絶大であったが電通とは一緒に出来ないと言われてしまった。1984年1月にこれが最後との思いで国立博物館に先生をお訪ねした。その日は大雪で部屋で暖を取るように言われ、だるまストーブに手をかき先生と雑談している

（イベント論 Major Sports in Japan ほか）
①につづく（154号）

5年ぶりに新入生セミナー実施



息を合わせて漕ぐカッター研習



仲間と語り合ったゼミ活動の様子



団結したロープジャンプ

の共同生活を通して親睦を深め、良好な信頼関係を構築することなどを目的としたもので、5年ぶりの実施となった。ゼミ別のカッター研習や運動会、

4月4日～9日、国立広島青少年交流の家で新入生セミナーを実施。新入生全員と教職員が、1泊2日

の共同生活を通して親睦を深め、良好な信頼関係を構築することなどを目的としたもので、5年ぶりの実施となった。ゼミ別のカッター研習や運動会、

担当教員と学生で語らう時間などの活動を行った。カッター研習では、規律や団結、協調性を身につけることを目的に、ゼミの仲間と協力して全長9メートル、重さ1.5トンのカッターを漕艇。運動会では8人9脚競争、増殖リレー、ロープジャンプといった3つの種目を行い、ゼミ生全員で協力して競い合った。夜遅くまで行ったゼミ活動では担当教員を中心にアイスブレイクなどを行い、教員とゼミ生同士の親睦を深めた。学生からは「1泊2日と短い時間だったが、その中でみんなと協力する時間が多かったので良い経験だった」「ゼミ生と協力してカッターを漕いだり、運動会で競技をしたりしたので達成感を得ることができたので良かった」「新入生セミナーのおかげで大学生活がより楽しくなった」といった声も聞かれ、充実した大学生活のスタートを後押しする行事となった。

Seniors who are active globally

在学中のドイツ視察を糧に ドミニカ・カープアカデミーで 駐在員として奮闘中

株式会社広島東洋カープ
海外育成部
高松 未輝さん
スポーツ経営学科 2023年3月卒業
(岡山県/明誠学院高校出身)



言葉の壁と 文化の壁を越えて

社会人1年目から海外勤務のチャンスをいただき、私は今、ドミニカ共和国のカープアカデミーで働いています。主担当の経理に加え、駐在員の一人として採用などにも携わり充実した毎日です。現地スタッフと価値観の違いを感じることも多く、「やるべきこと」「正すべきこと」を伝えるには根気強さが求められます。公用語であるスペイン語の言葉の壁と、文化の壁を乗り越えながら奮闘中です。特にやりがいを感じるのは、カープの将来を担うドミニカ人選手のサポートができることです。今年3月に、カープアカデミー出身のラミレス内野手とロベルト外野手がカープと育成契約を結びました。二人が真剣に練習に打ち込む姿を間近で見ただけで、元野球少年の私は自分のことのように嬉しかったです。



使命感を持って 業務に当たる

折にふれて思い出すのは、4年次に参加した「スポーツビジネス視察(欧州)」でドイツやイタリアを訪れたことです。中でも強豪プロサッカーチーム、FCバイエルン・ミュンヘンを視察したときのことは忘れられません。選手はもちろん、スタッフ全員が「ユース年代の選手を育成し、世界一のクラブを目指す」という目標を共有して、各自の業務に当たっていたのが印象的でした。サッカーと野球では事情が違い、経営規模も異なりますが、私はバイエルン・ミュンヘンのスタッフの方々の「働く姿勢」をお手本にしています。経理のような事務作業をするときも、常に駐在員の使命として「カープの方針でもある、育てて勝つことを実現するために、ドミニカ人選手の育成環境を支える」ことを念頭に置いています。ドミニカ人選手がカープの一員としてマツダスタジアムを湧かせる日を夢見て—今後駐在員業務に邁進し、より一層カープアカデミーに貢献していきたいと思っています。

グローバルに 活躍する先輩たち

語学留学や興動館プロジェクト、学科の学びなどで語学力や国際理解力を磨いた卒業生が、世界を舞台に活躍しています。また日本にいながらグローバルキャリアを歩む卒業生も。今回は、3名に在学中のエピソードや国際舞台での仕事術を聞きました。

広島が誇る食文化 「Okonomiyaki」を アメリカに普及させたい!

オタフクソース株式会社
Otafuku Foods, Inc (米国オタフク)
應本 洋平さん
経営学科 2009年3月卒業
(広島県/高陽東高校出身)



語学留学が海外勤務を志すきっかけに

オタフクソース(株)の営業担当として、アメリカに赴任して12年。現在はロサンゼルスを拠点に、日本食レストランへの商品の提案や、スーパーでのデモンストレーションなどを行っています。海外勤務を志したきっかけは、学生時代の語学留学です。ロンドンとニュージーランドと韓国に1ヵ月ずつ滞在し、異なる国籍・文化の方々とコミュニケーションするなかで視野が広がりました。また「英語はブロークンでも情熱があれば、人間関係は築ける」という気づきは、大きな発見だったと思います。留学後は、交換留学生との交流プログラムに積極的に参加しました。同世代の留学生在がグローバルキャリアを志望していると知り、大いに刺激を受けました。

現地の味覚に寄り添って提案

日本食ブームが拡大するアメリカで、年々注目度が高まっているのがお好み焼きです。寿司やラーメン並みのメジャー料理に押し上げるなら、まさに「今」だと考えています。そのため、現地の味覚に寄り添いながら、メニューの提案に力を入れています。例えば健康志向が強いエリアでは、キャベツの代わりにケールを使用しました。日本人には馴染みのない野菜ですが、現地ではヘルシーな野菜として人気が高く、お好み焼きに興味を持ってもらうきっかけになったと思います。現在の目標は営業部門の管理職として、多様な人種の異なる価値観を持つ現地スタッフをまとめることです。そしてスタッフと一緒に一丸となって、広島が誇る食文化「Okonomiyaki」の普及に、前のめりで取り組んでいきます。私のような営業職の場合、英語が話せることは重要ですが、あくまでツールの一つです。学生時代から変わらないマイポリシー「人の心を動かすのは情熱だ」のもと、これからも「お好み焼き愛」全開で業務に向き合っていきます。



興動館で培った チャレンジ精神で 国際派のバンカーに

株式会社伊予銀行 三島支店 融資係
井上 湧貴さん
経済学科 2017年3月卒業
(愛媛県/松山商業高校出身)



在学中に海外ビジネスを経験

国際的な仕事がしたいと思ったきっかけは、興動館プロジェクトの「インドネシア国際貢献プロジェクト」に参加したことでした。1年次から3年次の間に現地へ6度渡航し、伝統工芸品の布「テヌンルーリック」を用いたオリジナル商品の開発支援を行いました。現地の方々と信頼関係を深めるフェスティバルの開発支援を通じて、国を超えたビジネスの面白さを知りました。(株)伊予銀行に入行して、愛媛や大分の支店で5年間、窓口や融資、営業などを経験したのち、思い切って応募したのが行内研修制度「グローバル人財トレーニー(研修生)制度」でした。厳しい選考試験に合格し、1年6ヵ月の間、船舶融資や国際業務に従事する機会を得ました。そのうちの1ヵ月は、シンガポール支店とタイ・ベトナム拠点のコンサルティング会社で実地研修。融資や情報提供などでお客様の海外進出を支援する業務に、より一層魅力を感じました。

キャリアアップへ勉強を継続

現在は三島支店で融資を担当しています。トレーニー経験を活かして、融資案件の精査や、経営計画策定サポートなどに全力で取り組んでいます。さまざまな企業様とお取引をするなかで「造船が盛んな愛媛県では、地方都市でも海外に関わる仕事が想像以上に多い」と実感し、やりがいを持って働く日々です。将来は、国際関係の部署でキャリアを積んでいきたいと考えています。そのためステップとして、今は国内で銀行業務全般を学び、管理職登用試験に挑戦しています。並行してTOEIC800点以上を目指して英語学習、宅地建物取引士などの公的資格の勉強も継続中です。興動館プロジェクトで培った「失敗を恐れず何事もチャレンジする精神」で知識と経験値を増やし、国際派のバンカーを目指していきます。



カナダの大学と 交流協定を締結 5月21日、本学はカナダ のプリティッシュコロンビ ア州にあるプリティッシュ



プリティッシュコロンビア大学バンクーバーキャンパス (UBC提供)

GLOBAL
x
KEIDAI

国際教育交流の活動がさらに充実

コロンビア大学(UBC)付属語学学校 English Language Institute (ELI)と協力を確立するための覚書を締結した。2022年に在広島カナダ名誉領事館を学内に開館した縁で、カナダの大学との交流協定が実現。今年度の夏季休業中に、ELIのASPIREプログラムに、ELIへ学生を派遣することにも決まった。「語学力を磨き国際感覚を養いたい」という学生のニーズに応え、本学は今後も海外協定校の拡大を図る。留学プログラムのさらなる充実を努めていく。 ※ASPIREプログラムは環境や異文化間コミュニケーション

留学生異文化理解 研修旅行を実施

5月18日、尾道で2024年度留学生異文化理解研修旅行を実施した。交換留学生24名(フランス、ドイツ、ポーランド、ウタライナ、ベラルーシ、韓国、カンボジア、台湾、タイ、ベトナム)や正規留学生26名(ベトナム、中国、マレーシア、ミャンマー)が参加。さらに国際交流サークル(OG)のメンバーや、交換留学生のランゲージパートナーなどの日本人学生も加わり、参加者は総勢74名となった。



千光寺頂上展望台からの美しい景色を背景に留学生ら

この研修旅行は、留学生が日本文化への理解を深め、国籍を超えて交流することを目的としている。当日は異なる国籍の学生56名がグループになり、午前は尾道帆布の色付け体験、午後は商店街などの散策を行った。尾道の文化や風景を満喫し、日本語や英語で親睦を深める有意義な一日となった。

女子学生会「こまち会」主催イベント開催

4月20日、明徳館5階において、新入女子学生歓迎会ウェルカムパーティーが開催された。この歓迎会は、女子学生同士の親睦を図り、新しい大学生活がより楽しいものになるよう毎年開催している。歓迎会には、先輩女子学生スタッフ17名が出迎えるなか、これまでで最も多い73名の新入女子学生が参加。今年度は、5年ぶりにANAクラウンプラザホテル広島によるケーキバイキングが復活し、ケーキを囲みながら話が弾み、学生企画によるゲームで先輩スタッフと新入生の交流を深めることができた。

また、7月4日には、7月イベントを初開催。前期交換留学生、ランゲージパートナー、女子学生の総勢55名が参加。七夕の笹飾りや酢飯から作る手巻き寿司体験、七夕らしい七夕らしいイベントを楽しんだ。日本語と英語を交えたゲームなど

も行い留学生と日本人学生の参加者全員で盛り上がった。普段なかなか接する機会がない留学生と楽しく交流ができた。参加した留学生は「日本文化を体験できたことが、とても楽しかったです」と話し、楽しい時間はあつという間に過ぎた。今後もこまち会主催のイベントを企画し、女子学生支援をより充実させていく。



5年ぶりに復活したケーキバイキング

交換留学生、ランゲージパートナー、女子学生の総勢55名が参加。七夕の笹飾りや酢飯から作る手巻き寿司体験、七夕らしい七夕らしいイベントを楽しんだ。日本語と英語を交えたゲームなど



七イベント会食の様子

定期演奏会 57th Light Music Concert開催



6月22日、マエタハウジング安佐南区民文化センターにおいて、学友会文化局主催定期演奏会57th Light Music Concertが開催された。当日は本学関係者、保護者、卒業生、一般の方も含め、約380名が来場。アカペラサークルBQや軽音楽部 Music Family、SOUND FACTORY、ダンス部 DANCE RAZZLEなどの文化系サークルが日々の練習の成果を披露し、パフォーマンスで観客を魅了した。また、学友会執行部が司会を務め、写真部が記録写真を撮影するなど、文化系の部・サークルが一体となって開催することができた。定期演奏会実行委員

私のゼミナール 雑感

96

教育部 青谷章弘 准教授

今年度のゼミでは、ディベートを通じて、資料を集めること、資料から立論を考えること、反論を想定すること、実際に議論すること、その内容を文章にまとめることに取り組んでいる。準備、ディベート本番、まとめにそれぞれ1コマ、計3コマで1つのテーマを扱っている。扱うテーマは社会問題を想定していたが、直近のゼミで学生から恋愛に関するテーマが提案され、次回実施することとなった。楽しみである。

ディベートは選んだ理由は2点ある。1点目は、学生が思考・判断・表現する機会を多く設定することで、主体的な学びが期待できること。2点目は資料を引用して議論する経験を積むことが、卒論を構成する練習に適していると考えられることである。

ディベートを通じて 思考・判断・表現する



ディベートの効用についてゼミ生にアンケートを実施したところ回答は多様であった。「調べる能力や言語化能力が養える」「相手の意見を自分と落とし込み理解する傾聴力を鍛えられる」「自分の意見を主張する主体性や社会性を発揮させる機会になる」などの資質・能力の伸長に関するもののほか、「就活で強みになる」「相手を納得させることができると自信が持てる」などもあった。それぞれが、学びたいものを、学びたいように学んでいると感じ

「日本では0歳から選挙権を与えるべきか」をテーマにした回は、1人の学生が関連する報道特集を視聴して議論に臨み、少子化について強い危機感と関心を持ったと述べていた。

ディベートは、学生個々のニーズに応じた学びを提供するとともに、社会の諸問題に関心を持つきっかけとして有効であると感じた。卒論のテーマを絞り込んでいく過程においても、ディベートを活用したいと考えている。



入賞を喜ぶ濱田祐馬さん

GPIF 研究発表会「GPIF Finance Awards for Students」において、濱田祐馬さん（大学院経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程1年）が、研究奨励賞に選ばれた。入賞した題目は「AIによる企業のESG評価—大規模言語モデル活用による基礎検討—」。

環境・社会・ガバナンスの各側面を重視するESG投資が拡大している背景から、現在のESG評価の価値をさらに高めるための解決策を研究。近年注目されているAI技術である大規模言語モデルを活用し、ESG評価を自動化し、行う手法を提案した。

「AIによる企業のESG評価—大規模言語モデル活用による基礎検討—」。



経済学部経済学科 堀江 真由美 教授

不確実性と時間の経過を計量化する

経済学には、消費や投資といった経済的な選択行動をいかに計量化して経済モデルに組み入れるかを研究する研究分野があり、意思決定理論と呼ばれている。例えば、我々は、将来の所得がいくらかはつきりとは分からない、将来の金利や株価がいくらか分からない時点で、消費(貯蓄)や投資の決定を行っている。しかし、将来の所得や価格が分からないからといって、将来の生活に関わる重大な経済的選択を闇雲に当て推量で決断しているだろうか。恐らく、多くの意思決定者は、重大な決断を下すのに必要な情報を入手し精査して決断に至るだろう。それは、経済全体からみると、大きな力を持っていない個人や企業といった個々の小さな存在が「できるだけ損はしたくない」、「少しでも良い結果を得たい」というささやかな願いであり、このことを主観的合理性という。そのような意思決定プロセス自体は、心の中で行われた考察や熟考を経て行われているため、外部から直接観察したり検証したりすることは難しい。しかし、その帰結である選択行動あるいは嗜好関係(どちらが好ましいか)は観察可能である。心の中は覗けないが、観察可能な選択行動から、意思決定を特徴付ける=計量化するのが意思決定理論の目的である。

さて、前置きが長くなったが、不確実性と時間の経過を考慮した意思決定をどのように計量化するか。まず、不確実性については、起こりうる状態を列挙して記述し、各状態でのどのような結果が起こるかを特定した選択肢を定義する。選択肢間の嗜好関係がどのような性質(公理)を満たせば、選択肢間の選択が、各状態の(主観的)確率的評価と結果の効用評価の関数の最大化として表現できるかを明らかにする。これにより、選択行動が、確率的評価と効用評価の関数の最大化問題として定式化できる。

時間の経過については、前述の各状態に各時間軸を加味して、選択肢を不確実な結果の流列に拡張すればよい。ここで重要となるのが、意思決定者が過去から将来にわたって得得であろう情報構造である。最近では、未知の感染症のパンデミック、武力紛争の勃発等、それまでは「想定外」だった事象が現実のものとなっている。起こらなかった過去を整理し、想定外だった事象を起こり得る事象とし、科学技術の進歩等により新たに発見された事象を追加する、といった情報構造の変化に伴い、不確実性に係わる情報を更新・拡張する必要がある。このように、不確実性と時間の経過の計量化においては、状態×時間軸上の確率的評価、結果の評価、情報の更新・拡張という3要素の計量化が不可欠であり、今日まで膨大かつ多種多様な研究が行われ目覚ましい進歩が遂げられてきた。近年の筆者の研究もこうした流れを汲むものであり、今後も引き続き研究の発展に寄与していきたいと意気込んでいる。

同窓会外国人留学生奨学生決定



同窓会外国人留学生奨学生に決まった PHAN MY DUYEN さん (中央)

6月7日、外国人留学生を支援する学校法人石田学園同窓会外国人留学生奨学生に2024年度はベトナム出身の PHAN MY DUYEN (ファンミーズエン) さん

(経営学科4年)に決定した。この奨学金制度は、同窓会から寄付を受けた広島経済大学が、毎年1名に年額50万円を奨学金として支給しているものである。ズエンさんは「石田学園同窓会外国人留学生奨学生に選んでいただき、心より感謝申し上げます。広島経済大学に入学して以来、マーケティングの科目を中心に学んでおり、SNSマーケティングの影響について研究しています。卒業後は、日本の企業に就職し、大学で学んだ知識をしっかりと活用していきたいと思っています。社会に貢献できる人間になりたいという思いが一層強まっています」と感謝の思いと今後の抱負を語った。

2024年度 広島経済大学学生表彰 石田学園各種奨学生 決定



石田学園奨学生

2024年度広島経済大学学生表彰受賞者及び石田学園各種奨学生が決定した。今年度は、学生表彰者に3名、奨学生に33名の学生が対象者となった。決定した表彰者、奨学生は次のとおり。

●広島経済大学学生表彰(3名)
学部の2～4年次生において、前年度1年間に39単元以上修得した者の中で、学業成績順位が各学年で第1位の者。
喜多健士郎(経済学科4年)

●石田学園奨学生(4名)
学業の修得だけでなく、さまざまな分野において若者らしい積極的な活動を行っているなど、本学生生の模範として相応しいと認められる者に対して支給。
加藤愛理(メディアビジネス学科3年) 夢をテーマに映像制作を行っている。広島ドラゴンフライズに関する取材活動は、企画立案から取材、編集まで一人でやり遂げ、作品の評価も高い。自分の目標に向かって行動する姿勢は学生の模範として相応しいと認められるため。

●石田学園学業奨学生(21名)
学業成績、人物ともに優秀な学生に対して支給。
原田綾乃(経済学科4年) 繁浪駿汰(ビジネス情報学科4年) 鯉石聖也(経済学科4年) 山城めい(ビジネス情報学科4年) 椿武士(経済学科4年) 森川莉子(スポーツ経営学科4年) 村上羽奈(メディアビジネス学科3年) 西瀧陸(経済学科3年) 岡崎源乃丞(経済学科3年) 大森健心(経営学科3年) 川脇彩愛(経営学科3年) 本阪瑠夏(ビジネス情報学科3年) 有福春菜(スポーツ経営学科3年) 浅海ひなた(経営学科2年) 松本徳園(経営学科2年) 西本ひなた(経営学科2年) 柴野真名美(経済学科2年) 松本陸日(経営学科2年) 橋本優真(スポーツ経営学科2年) 山本彩加(メディアビジネス学科2年) 石田学園アクティブ奨学生(4名)

●石田学園学業奨学生(21名)
学業成績、人物ともに優秀な学生に対して支給。
山口晏聖(経営学科4年) 岡田友也(ビジネス情報学科4年) 浅井美加(大学院前期課程) 五島夢実(大学院前期課程) 山下将吾(大学院前期課程) 片山美里(大学院前期課程) 濱田祐馬(大学院前期課程) 倉野遼大(大学院前期課程)

●石田学園学業奨学生(21名)
学業成績、人物ともに優秀な学生に対して支給。
河村航輝(スポーツ経営学科3年) フットサル愛好会の主将であり、プロジェクト活動にも参加し、さらに和み館のRA(レジデント・アシスタント)として留学生の世話をしている。特に、和み館のRAとして、留学生と生活し、留学生の支援や、日本文化を伝えるなど、国際交流に大きく貢献しているため。

●石田学園学業奨学生(21名)
学業成績、人物ともに優秀な学生に対して支給。
三浦梨瑚(経営学科4年) 4年間応援団チアリーディング部として、クラブの応援をはじめ、壮行会、大学祭、オープンキャンパスなど、各種イベントで大学に貢献している。現在、部員2名と部の存続が危ぶまれるなか、副団長として母校(広島県瀬戸内高校)での広報活動や新入生の勧誘活動を行っている。また、卒業後も後輩の指導を継続するため。

●石田学園学業奨学生(21名)
学業成績、人物ともに優秀な学生に対して支給。
奥宮凜(メディアビジネス学科3年) 中国新聞キャスターとして中国新聞社より優秀賞を受賞している。コミュニティFM放送局運営プロジェクトにおいてもラジオ番組の制作、出演、放送を行っている。さらに応援団吹奏楽部

として応援活動にも取り組んでいる。本学の模範として相応しいと認められるため。
●石田学園学部との5年プログラム奨学生(8名) 前年度からの継続3名、再開1名
専門的な知識の修得及び高度な研究活動を志す者に支給。
山口晏聖(経営学科4年) 岡田友也(ビジネス情報学科4年) 浅井美加(大学院前期課程) 五島夢実(大学院前期課程) 山下将吾(大学院前期課程) 片山美里(大学院前期課程) 濱田祐馬(大学院前期課程) 倉野遼大(大学院前期課程)

5月12日、岡山大学清水記念体育館にて開催された第49回中四国学生空手道選手権大会において、空手道部の長渡着士郎さん(経済学科2年) 広島県/安芸南高校出身) が男子個人形で優勝。また、女子個人形で安芸南中高校出身) が準優勝。仙田紗也華さん(スポーツ経営学科1年) 島根県/松江西高校出身) が3位の成績を残した。今大会の結果により、7月7日に兵庫県で開催された第68回全日本学生空手道選手権大会への出場を決めた空手道部員たち

5月18日、東広島市福富多目的グラウンドにて開催された第59回全日本大学ソフトボール選手権大会へ出場するソフトボール部が第59回全日本大学ソフトボール選手権大会へ出場する。

5月19日、Balcom BMW広島総合グラウンドにて開催された広島六大学野球春季リーグ戦において、硬式野球部が近畿大学工学部を7-10で下し、2年連続30度目の優勝を決めた。この結果により、6月10日から東京ドームと明治神宮野球場で開催された第73回全日本大学野球選手権大会へ出場する。

5月19日、Balcom BMW広島総合グラウンドにて開催された広島六大学野球春季リーグ戦において、硬式野球部が近畿大学工学部を7-10で下し、2年連続30度目の優勝を決めた。この結果により、6月10日から東京ドームと明治神宮野球場で開催された第73回全日本大学野球選手権大会へ出場する。

6月1日、東広島市御建公園野球場にて開催された2024年度広島六大学学生軟式野球春季リーグ戦において、軟式野球部が広島県立大学庄原キャンパスに勝利し、2季連続、通算6年ぶりの全国大会への出場権を獲得した軟式野球部

6月14日、16日、神奈川県レモンスタジアム平塚にて開催された2024年度日本学生陸上競技学生個人選手権大会において、陸上競技部の東秀太さん(経済学科3年) 兵庫県/三田松聖高校出身) が、1500mにて優勝、800mにて3位の成績を残した。

2024年度 広島経済大学公開講座

10月1日(火) 受付開始

2024パリ・オリンピック ~アスリートの視点~

参加無料 定員60名

本年度の講座では、7月末から8月上旬に開催予定の「2024パリ・オリンピック」をとりあげて話題を提供するとともに、「アスリート」の視点で今後のオリンピックや日本のスポーツおよび教育界のあり方などをわかりやすく解説します。

オリンピック教育とは何か ~アスリートの視点から生まれる学びと成長~

講師 松田亮(准教授)

アスリートの視点から得られた学びに焦点を当て、オリンピック教育の価値や目的を解説します。オリンピックを通じて得られる教育的な価値や経験を紐解き、その中で育まれる意味や価値に迫ります。

オリンピックへの関わり、伝え方 ~選手、解説者としての視点~

講師 尾方剛(教授)

4年1度の五輪の舞台に選手として2008年北京五輪に男子マラソンの選手として出場しました。2021年に開催された東京五輪では男女マラソンの試合前後に試合会場となった札幌市でコメントさせていただきました。本講座では選手側、伝える側の双方について述べていきます。

オリンピックの裏側 ~オリンピック選手強化の現場から~

講師 山田亜沙妃(准教授)

大舞台でアスリートが最大のパフォーマンスを発揮する裏側には、多くのステークホルダーが存在し、日々の活動を支えています。本講座では、アスリートとその周りの「ささえる」力、そしてオリンピックに向けた選手強化プロセスについて話をします。

- コーディネーター/濱田 敏彦(教授)
- 時間/18:00~19:30(開場17:30)
- 会場/〒730-0036 広島市中区袋町6-36 広島市まちづくり市民交流プラザ 研修室C

- 申込手順
- 電話、ファックス、来所にて、①希望講座もしくは学名②氏名(ふりがな)③住所
- 連絡先(電話番号・ファックス番号等)を以下の申込先にお知らせください。

- 申込先:問合先/公益財団法人広島市文化財団ひとまちネットワーク部管理課 〒730-0036 広島市中区袋町6-36(広島市まちづくり市民交流プラザ北棟5階) TEL(082)541-5335 FAX(082)541-5611
- 受付時間/月~金(祝日を除く) 8:30から17:15まで(来所の場合は9:30から)

受講上のお知らせ
受講当日の大雨や台風などの気象状況等により、講座を中止する場合があります。休講等の情報は教育ネットワーク中国のホームページ(https://www.enica.jp/)に掲載されます。

※日時厳守、先着順、定員になり次第締め切ります

サークル戦績

- 陸上競技部
- ▽第32回金栗記念選抜陸上中長距離大会2024(男子800m) 東秀太(7位)
- ▽男子1500m 藤井奏汰(30位)
- ▽第72回兵庫リレーカーニバル(男子800m) 東秀太(7位)
- ▽第39回静岡国際陸上競技大会(男子800m) 東秀太(9位)
- ▽第35回ゴールデンゲイムズinのべおか(男子5000m) 藤井奏汰(11着)
- ▽2024日本学生陸上競技個人選手権大会(男子800m) 東秀太(3位)

陸上競技部が2024日本学生陸上競技学生個人選手権大会で優勝

6月14日、16日、神奈川県レモンスタジアム平塚にて開催された2024年度日本学生陸上競技学生個人選手権大会において、陸上競技部の東秀太さん(経済学科3年) 兵庫県/三田松聖高校出身) が、1500mにて優勝、800mにて3位の成績を残した。

ソフトテニス部

- ▽第31回全日本シングルスソフトテニス選手権大会出場(シングルス) 三好翔馬
- 空手道部
- ▽第68回全日本学生空手道選手権大会出場(男子個人組手) 湧川雄斗・佐々木和馬 橋本庄平(男子個人組手)
- ▽長渡着士郎(女子個人組手)
- ▽西田美咲・仙田紗也華

2025年度 学生募集要項

学部及び大学院の入試要項を配付しています。
お申込みは本学オフィシャルサイト・電話・メールなどで。
〒731-0192 広島市安佐南区祇園五丁目37番1号
(学部・大学院)入試広報センター ☎082-871-1313 / ✉ent-sc@hue.ac.jp
(留学生)国際教育交流センター ☎082-871-1002 / ✉int-sc@hue.ac.jp

■大学院 博士課程前期課程 【一般選抜】

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程(研究者養成コース・経済学専修コース)10名(外国人留学生、国外受験者、外国人留学生指定校推薦を含む) |
| 出願期間 | I期=2024年7月12日(金)~7月26日(金)【締切日消印有効】 II期=2025年1月4日(土)~1月16日(木)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | I期=2024年9月4日(水)・5日(木) II期=2025年2月25日(火)・26日(水) |
| 合格発表 | I期=2024年9月13日(金)午前10時 II期=2025年3月6日(木)午前10時 |

【社会人特別選抜】

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学研究科経済学専攻博士課程前期課程 [経済学専修コース]若千名(外国人留学生を含む) |
| 出願期間 | I期=2024年7月12日(金)~7月26日(金)【締切日消印有効】 II期=2025年1月4日(土)~1月16日(木)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | I期=2024年9月5日(木) II期=2025年2月26日(水) |
| 合格発表 | I期=2024年9月13日(金)午前10時 II期=2025年3月6日(木)午前10時 |

■大学院 博士課程後期課程

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学研究科経済学専攻博士課程後期課程(研究者養成コース)3名(外国人留学生、国外受験者を含む) |
| 出願期間 | 2025年1月4日(土)~1月16日(木)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2025年2月25日(火) |
| 合格発表 | 2025年3月6日(木)午前10時 |

■学部 総合型選抜(興動館選考型/学部学科選考型/スポーツ実践選考型)

| | |
|--------------|---|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 20名 |
| エントリー期間 | 2024年6月16日(日)~8月25日(日) |
| 全体説明・セルフチェック | 2024年7月5日(金)~8月31日(土) |
| 出願期間 | 2024年9月1日(日)~9月13日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2024年9月27日(金)~10月2日(水)のうち、いずれか1日(土日除く) |
| 合格発表 | 2024年11月1日(金)午後3時 |
| 募集人員 | 経済学部(経済学科46名)/経営学部(経営学科46名・スポーツ経営学科15名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科16名・メディアビジネス学科10名) |
| 出願期間 | 2024年9月1日(日)~9月13日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2024年10月5日(土) |
| 合格発表 | 2024年11月1日(金)午後3時 |
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科)60名 |
| 出願期間 | 2024年9月1日(日)~9月13日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2024年10月5日(土) |
| 合格発表 | 2024年11月1日(金)午後3時 |

■学部 学校推薦型選抜(実績評価型)

| | |
|------|---|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 15名 |
| 出願期間 | 2024年11月1日(金)~11月8日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2024年11月19日(火) |
| 合格発表 | 2024年12月5日(木)午後5時 |
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 2名 |
| 出願期間 | 2024年11月1日(金)~11月8日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2024年11月19日(火) |
| 合格発表 | 2024年12月5日(木)午後5時 |

■学部 学校推薦型選抜(資格スカラシップ1期/2期/3期)

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名 |
| 出願期間 | 2024年11月1日(金)~11月8日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2024年11月19日(火) |
| 合格発表 | 2024年12月5日(木)午後5時 |
| 出願期間 | 2025年1月4日(土)~1月21日(火)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2025年2月6日(木) |
| 合格発表 | 2025年2月20日(木)午後3時 |
| 出願期間 | 2025年2月13日(木)~2月23日(日)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2025年3月3日(月) |
| 合格発表 | 2025年3月11日(火)午後3時 |

■学部 学校推薦型選抜(一般公募制)

| | |
|------|---|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科55名)/経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科10名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科10名・メディアビジネス学科10名) |
| 出願期間 | 2024年11月1日(金)~11月8日(金)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2024年11月19日(火) |
| 合格発表 | 2024年12月5日(木)午後5時 |

※3学科併願制 1回の受験で3学科まで出願することができます。

■学部 一般選抜(1期3教科型・高得点2教科型/国公立受験生支援入試/2期)

| | |
|------|---|
| 募集人員 | 3教科型=経済学部(経済学科50名)/経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科12名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科12名・メディアビジネス学科10名) 高得点2教科型=経済学部(経済学科55名)/経営学部(経営学科50名・スポーツ経営学科13名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科13名・メディアビジネス学科10名) |
| 出願期間 | 2025年1月4日(土)~1月21日(火)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2025年2月6日(木)・7日(金) |
| 合格発表 | 2025年2月20日(木)午後3時 |
| 募集人員 | 経済学部(経済学科10名) |
| 出願期間 | 2025年1月4日(土)~1月21日(火)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2025年2月6日(木)・7日(金) |
| 合格発表 | 2025年2月20日(木)午後3時 |
| 募集人員 | 経済学部(経済学科20名)/経営学部(経営学科20名・スポーツ経営学科5名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名) |
| 出願期間 | 2025年2月13日(木)~2月23日(日)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2025年3月3日(月) |
| 合格発表 | 2025年3月11日(火)午後3時 |

※試験日自由選択制 2月6日・7日の試験日をどちらか、又は2日とも選択することができます。
同日とも同一学科を受験した場合は、高い方の合計得点で選考します。【2期以外】
※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。【国公立受験生支援入試以外】
※3教科型・高得点2教科型同時出願検定減額制 一般選抜(1期)3教科型と高得点2教科型の同日の試験を同時出願する場合、高得点2教科型を1日につき5,000円の追加料金で5願まで出願できます。

■学部 共通テスト利用選抜(1期/2期)

| | |
|------|---|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科40名)/経営学部(経営学科40名・スポーツ経営学科10名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科10名・メディアビジネス学科10名) |
| 出願期間 | 2025年1月4日(土)~1月26日(日)【締切日消印有効】 |
| 合格発表 | 2025年2月20日(木)午後3時 |
| 募集人員 | 経済学部(経済学科10名)/経営学部(経営学科10名・スポーツ経営学科5名)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科5名・メディアビジネス学科5名) |
| 出願期間 | 2025年2月13日(木)~2月23日(日)【締切日消印有効】 |
| 合格発表 | 2025年3月11日(火)午後3時 |

※複数学科併願制 1回の受験で5学科まで出願することができます。

■学部 社会人入学試験

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名 |
| 出願期間 | 2025年2月13日(木)~2月23日(日)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2025年3月3日(月) |
| 合格発表 | 2025年3月11日(火)午後3時 |

■学部 編入学試験

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名 |
| 出願期間 | 2025年2月13日(木)~2月23日(日)【締切日消印有効】 |
| 試験日 | 2025年3月3日(月) |
| 合格発表 | 2025年3月11日(火)午後3時 |

※希望者は、2024年10月7日(月)までに入試広報センター(082-871-1313)へご連絡ください。

■学部 外国人留学生公募制推薦入学試験

| | |
|------|---|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 6名 |
| 出願期間 | 2025年1月6日(月)~1月20日(月)【必着】 |
| 試験日 | 2025年2月4日(火) |
| 合格発表 | 2025年2月20日(木)午後3時 |

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。

■学部 外国人留学生入学試験(I期/II期)

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名 |
| 出願期間 | I期=2025年1月6日(月)~1月20日(月)【必着】 II期=2025年2月5日(水)~2月25日(火)【必着】 |
| 試験日 | I期=2025年2月4日(火) II期=2025年3月4日(火) |
| 合格発表 | I期=2025年2月20日(木)午後3時 II期=2025年3月11日(火)午後3時 |

※複数学科併願制 1回の受験で2学科以上出願することができます。

■学部 外国人留学生のための書類選考による入学試験

| | |
|------|--|
| 募集人員 | 経済学部(経済学科)/経営学部(経営学科・スポーツ経営学科)/メディアビジネス学部(ビジネス情報学科・メディアビジネス学科) 若干名 |
| 出願期間 | 2025年1月6日(月)~1月20日(月)【必着】 |
| 選考日 | 2025年2月4日(火) |
| 合格発表 | 2025年2月20日(木)午後3時 |

昇格
令和6年6月1日付
◆事務職
〔次長〕情報センター
〔課長補佐〕キャリアセンター
〔主任〕住本洋子
〔主任〕入試広報センター
〔主任〕学務センター
〔主任〕教務課 藤永めぐみ
〔主任〕教育・学習支援センター 深澤真由子

異動
令和6年6月1日付
◆事務職
〔入試広報センター〕奥村恵美子 課長補佐
〔教育・学習支援センター〕西國真一 係長
〔学務センター〕藤永めぐみ 係長

計報
昭和59年4月本学に就任。平成14年4月に教授となる。平成15年から教務部長、学務センター部長、経営学部長、スポーツ経営学部長を歴任。また、男子バスケットボール部顧問として多数の学生を熱心に指導された。専門分野は運動生理学。博士(教育学)。

第19回 祇園・興動祭 開催のお知らせ

開催日:2024年11月10日(日)



祇園・興動祭は「地域とのつながりや交流によって祇園地区を活性化させる」ことを目的に、2006年から毎年開催してきました。19回目を迎えた今年は11月10日(日)、広島経済大学興動館において開催いたします。興動館プロジェクトの特長を活かしたステータスブース、地域と連携した企画など、多彩な催しをご用意して皆さまのご来場をお待ちしております。
※最新の情報については本学オフィシャルサイトをご確認ください。

問い合わせ先: 興動館 TEL 082-832-5010

第57期 経大祭開催 10/19(土)・20(日)

テーマ:「GLORY」

10月19日(土)、20日(日) 広島経済大学において第57回経大祭を開催します。今年のテーマは「GLORY」。直訳すると「栄光」という意味です。本来、「栄光」とは過去を表す言葉として主に使用されますが、「どの代にも超えることのできない、栄光を残す経大祭を創りあげよう」という前向きな意味が込められています。今年は5年ぶりの2日間開催となります。在学生、教職員、関係者、卒業生、そして地域の皆さまにも楽しんでいただける経大祭を目指します。第57期大祭実行委員会全員で気持ちを一つにして、皆さまに楽しんでいただけるようなたくさんの企画を用意していますので、ぜひお越しください。
※最新の情報は本学オフィシャルサイトよりご確認ください。

問い合わせ先: 学務センター-学生課 TEL 082-871-1003

BOOKS

「広島経済大学研究紀要」を創刊しました。

◆広島経済大学研究紀要 第1巻 第1号(2024年7月)

【論説】
内示を用いた発注計画における意思決定手法の基礎的検討
—リスク許容度を考慮した多目的計画モデルの運用比較— 上野 信行(名誉教授)
得津 康義(教授)
丹羽 啓一(教授)

地代と価格、そして、「国富論」第1篇の構造
—第11章での真の価値尺度の適用— 中川 栄治(名誉教授)
倫理的消費の展開
—2010年代以降のライフスタイル雑誌分析から— 阿部 純(准教授)

【研究ノート】
イングランドの部活動(2/2)
—「学校スポーツプレミアム(SSPr)」と「全国スポーツ大会(SG)」— 内海 和雄(名誉教授)

【調査】
バレーボール用語の新聞掲載時の種類と頻出度についての考察
小笠 喜徳(教授)

— 学生の皆さんへ —

「広島経済大学研究紀要」は先生方の最新の研究成果が掲載された電子ジャーナルです。
広島経済大学機関リポジトリにて無料公開を行っておりますので、ぜひご覧ください。

広島経済大学リポジトリ
https://hue.repo.nii.ac.jp/
これまでに本学から刊行された大学紀要のバックナンバー等もご覧いただけます。

保護者様向けメルマガ配信(通称:HUE(ヒュー)メル)

本学では、広島経済大学の最新情報を月初めにメルマガジンで配信しています。ぜひ、ご登録のうえご覧いただき、広島経済大学及び学生たちのことを知る一助にいただければと思います。保護者の皆さまの多数のご登録をお待ちしております。登録方法はオフィシャルサイトから「保護者の方」をクリックしてください。

オープンキャンパス2024情報



オープンキャンパス 2024 を開催します。学部学科説明会や個別相談など充実したプログラムを用意して皆さまをお待ちしております。
※最新の情報は本学オフィシャルサイトでご確認ください。 **8/25(日)**

中四国、県内遠方からは **無料送迎バス** を運行します(要予約)
(問い合わせ先) 入試広報センター TEL.082-871-1313

知の系譜 No.59

ガリレオ・ガリレイ「新科学対話」初版 1638年 ライデン刊
Galilei, Galileo, 1564-1642.
Discorsi e dimostrazioni matematiche, intorno à due nuove scienze attenenti alla meccanica & i movimenti locali.
Leida: Appresso gli Elsevirij, 1638.

中世イタリアの科学者、ガリレオ・ガリレイ最後の著作で、自由落下の法則や放物線の運動など、科学史に残る発見が著された重要な一冊であり、実験物理学の創始となった名著である。
イタリアの名門大学で教鞭をとり、地位と名声を築いたガリレオは、1632年、68歳の時に出版した『天文対話』において地動説を唱えた疑いにより、宗教裁判にかけられた。キリスト教が社会を支配していた当時のヨーロッパでは、聖書にある天動説が正しく、地球が動いているという考えは禁じられていた。カトリック教会の最高指導者であるローマ教皇の怒りを買った彼は有罪判決を受け、『天文対話』は発禁処分となり、イタリア国内で新たな本を出版することはできなくなった。
失意から健康状態が悪化する中、天文学から離れ、過去に実験した物理学の研究成果をまとめるために執筆したのが本書『新科学対話』である。『天文対話』と同じ登場人物3人が、物質の構造や物体の運動等、新しい物理学について四日間に向かい合おうとするという形式で論じられている。
本書の原稿は1635年に執筆が終わっていたが、ローマ教皇を恐れて印刷を引き受けてくれる出版社が見つからず、1638年にオランダのエルゼビア社からようやく出版された。その後、本書の要約版や翻訳版が次々と出版されてヨーロッパ中に広まっていき、ガリレオの新しい物理学は現代につながる近代科学発展の礎を築いた。

SNS公式アカウント 最新情報発信中!

ぜひ、フォローしていただき、大学や学生の日々の取り組みをご覧ください。

